

“寝具”から始める私のSDGs

第11回：優木まおみさん(タレント・身体美容家)

ピラティスで整えた美しい姿勢とやわらかな笑顔で魅了する優木まおみさん。「質のよい睡眠のためには、昼間の体の使い方も大切」と話します。そんな優木さんが初めて体験したのは、マニフレックスのマットレス「フラッグ・FX」。体のカーブを心地よく支えるマットレス選びの大切さとSDGsに貢献できる寝具の可能性について、新たな気づきがありました。

(取材：優木まおみ / 撮影：目黒智子 / ヘアメイク：中村未幸 / スタイリスト：ちばひろみ / 文：角田奈穂子)

ゆうき・まおみ 1980年佐賀県生まれ。バラエティー番組や情報番組のMC、女性誌のモデルなどで幅広く活躍。2013年に結婚し、2女の母。ピラティスのインストラクターとして親子で楽しめる独自メソッドの「マオボックス」を提唱。



理想の就寝姿勢を支える高反発マットレスのよさと、環境を考えたモノ作りの大切さを知ることができました。

優木まおみさんはピラティスのインストラクターとしても活躍するだけに、就寝中の姿勢にも敏感。寝る前には、筋肉の疲れをストレッチやマッサージで癒やし、体のバランスを整えてから、ベッドに入っています。でも、今、寝ているベッドはデザイン優先で選んだもの。マットレスにこだわりはありませんでした。

「『フラッグ・FX』のおかげで高反発マットレスへの理解が深まり、寝具選びの大切さに気づきました。体のカーブがふわっと包み込まれるような適度な柔らかさがありながら、姿勢をしっかりと保てられるんです。スーツと背筋が伸びた姿勢を保つことは、健康のためにも美しさのためにも、とても大切なこと。立っている姿を90度、横にした状態が理想的な寝姿と知ると、姿勢の大切さをあらためて感じます」

独身時代は仕事の忙しさから生活リズムが崩れ、眠りにつくのに苦労したこともありました。でも今は、お子さんたちと一緒に午後11時までには就寝し、朝7時前には起きるという規則正しい生活をしています。

「寝室のカーテンを開けたままにして、朝日が昇るのに合わせ、陽の光が部屋に自然に差し込むようにしています。人間の体は朝日を浴びることでリセットされて、体内時計が整うそうなんです」

優木さんはマニフレックスの環境を大切にすることを企業姿勢にも感銘を受けたそうです。

「私もマイボトルを持ち歩いたり、モノづくりにも携わっているのでSDGsを意識することが増えました。でも、ショッピングの楽しさも忘れたいありません。これからは買う楽しさと環境への配慮のバランスが整っているモノが選ばれていく時代になるんでしょうね」



優木まおみさんが使って納得!

「フラッグ・FX」

「就寝中も理想の姿勢をキープしてくれる寝具で1日が気持ちよくスタートできました」(優木さん)



マニフレックスを代表するフラッグシップモデル。本体には18cmの「エリオセル®」を使用し、側生地の上・下には「エリオセル®」より柔らかい感触が特徴の「エリオセル・マインドフォーム®」を2cm使用。体を横にしたときの肌当りは驚くほどしっとり柔らかく、それでいて沈み込んだ体をしっかりとサポートして支え上げてくれます。梱包は環境に配慮したロール状。フラッグ・FX：106,480～183,700円(税込)

※マニフレックスのSDGs「つくる責任 つかう責任」の取り組み：金属パネ・スプリング、プラスチック不使用。製造工程でも廃棄の際も有毒ガスは排出しません。

商品のお問い合わせは
TEL:0120-008-604(フリーダイヤル)
受付時間:10:00～12:15、13:15～18:00(平日)
www.magniflex.jp/

マニフレックス

